# 2023年3月期 第3四半期決算説明資料



## 【目次】

1.	損益の状況	<ul><li>(1)第四北越フィナンシャルグループ 連結</li><li>(2)第四北越銀行 単体</li></ul>	 1 2
2.	金融再生法開示債権及びリスク管理債権	第四北越銀行 単体	 3
3.	有価証券の状況	(1)第四北越フィナンシャルグループ 連結 (2)第四北越銀行 単体	 3
4.	預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	 4
5.	投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	 4

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
  - 2. 前年同期比、2021年12月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
  - 3. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

## 1. 損益の状況

## (1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

- ○連結粗利益…その他業務利益が57億円減益となったものの、資金利益が73億円、役務取引等利益が10億円 それぞれ増益となったことから、前年同期比26億円増益の704億円となりました。
- ○経常利益…株式等関係損益が29億円減少したものの、連結粗利益の増益に加え、営業経費が22億円減少したことや貸倒償却引当費用が19億円減少したこと等により、前年同期比43億円増益の213億円となりました。
- ○親会社株主に帰属する四半期純利益…法人税等税金関係費用が10億円増加し、前年同期比37億円増益の151億円となりました。

(単位:百万円)

連結粗利益       1       70,431       2,647       67,784         資金利益       2       53,503       7,384       46,119       60,39         役務取引等利益       3       15,969       1,050       14,919       21,06         その他業務利益       4       958       △5,787       6,745       9,88         営業経費(△)       5       46,726       △2,272       48,998       65,07         貸間億却引当費用(△)       6       3,962       △1,931       5,893       7,60         貸出金償却(△)       7       1,396       △185       1,581       1,74         個別貸倒引当金繰入額(△)       8       2,515       467       2,048       3,31         一般貸倒引当金繰入額(△)       9       △198       △1,606       1,408       29         延滞債権等売却損(△)       10       —       △653       653       66         その他(△)       11       249       47       202       1,57         貸倒引当金戻入益       13       447       121       326       50         株式等関係損益       14       331       △2,994       3,325       3,66         その他       15       844       407       437       69         経常利益       [249億円]       16						(中国 日海田)
連結粗利益       1       70,431       2,647       67,784         資金利益       2       53,503       7,384       46,119       60,39         役務取引等利益       3       15,969       1,050       14,919       21,06         その他業務利益       4       958       △5,787       6,745       9,88         営業経費(△)       5       46,726       △2,272       48,998       65,07         貸間億却引当費用(△)       6       3,962       △1,931       5,893       7,60         貸出金償却(△)       7       1,396       △185       1,581       1,74         個別貸倒引当金繰入額(△)       8       2,515       467       2,048       3,31         一般貸倒引当金繰入額(△)       9       △198       △1,606       1,408       29         延滞債権等売却損(△)       10       —       △653       653       66         その他(△)       11       249       47       202       1,57         貸倒引当金戻入益       13       447       121       326       50         株式等関係損益       14       331       △2,994       3,325       3,66         その他       15       844       407       437       69         経常利益       [249億円]       16			2023年3月期		2022年3月期	(参考)
資金利益       2       53,503       7,384       46,119       60,39         役務取引等利益       3       15,969       1,050       14,919       21,06         その他業務利益       4       958       △5,787       6,745       9,88         営業経費(△)       5       46,726       △2,272       48,998       65,076         貸倒債却引当費用(△)       6       3,962       △1,931       5,893       7,60         貸出金償却(△)       7       1,396       △185       1,581       1,74         個別貸倒引当金繰入額(△)       9       △198       △1,606       1,408       29         延滞債権等売却損(△)       10       —       △653       653       66         その他(△)       11       249       47       202       1,573         貸倒引当金戻入益       12       —       —       —       —         貸倒引当金戻入益       12       —       —       —       —         償却債権取立益       13       447       121       326       50         株式等関係損益       14       331       △2,994       3,325       3,66         その他       15       844       407       437       69         経常利益       [249億円]       16       21			第3四半期	前年同期比	第3四半期	2022年3月期
役務取引等利益   3   15,969   1,050   14,919   21,060   20世業務利益   4   958   △5,787   6,745   9,88	連結粗利益	1	70, 431	2, 647	67, 784	91, 349
その他業務利益	資金利益	2	53, 503	7, 384	46, 119	60, 396
営業経費(△)	役務取引等利益	3	15, 969	1, 050	14, 919	21, 065
貸倒償却引当費用 (△) 6 3,962 △1,931 5,893 7,600 貸出金償却 (△) 7 1,396 △185 1,581 1,744 個別貸倒引当金繰入額 (△) 8 2,515 467 2,048 3,31 一般貸倒引当金繰入額 (△) 9 △198 △1,606 1,408 299 ※ 準債権等売却損 (△) 10 — △653 653 653 653 653 653 653 653 653 653	その他業務利益	4	958	△5, 787	6, 745	9, 887
貸出金償却(△) 7 1,396 △185 1,581 1,74 個別貸倒引当金繰入額(△) 8 2,515 467 2,048 3,31 一般貸倒引当金繰入額(△) 9 △198 △1,606 1,408 296 ※ で帯債権等売却損(△) 10 一 △653 653 666 その他(△) 11 249 47 202 1,576 (費別当金戻入益 12 一 一 一 位割債権取立益 13 447 121 326 50 株式等関係損益 14 331 △2,994 3,325 3,66 その他 15 844 407 437 696 (軽常利益 【249億円】16 21,366 4,386 16,980 23,54 特別損益 17 116 244 △128 △20 税金等調整前四半期(当期)純利益 18 21,483 4,631 16,852 23,345 3,28 法人税、住民税及び事業税(△) 19 5,289 351 4,938 8,28	営業経費(△)	5	46, 726	△2, 272	48, 998	65, 070
個別貸倒引当金繰入額 (△) 8 2,515 467 2,048 3,31 一般貸倒引当金繰入額 (△) 9 △198 △1,606 1,408 296 延滞債権等売却損 (△) 10 一 △653 653 666 その他 (△) 11 249 47 202 1,576 貸倒引当金戻入益 12 一 一 一 位間却債権取立益 13 447 121 326 50 株式等関係損益 14 331 △2,994 3,325 3,66 その他 15 844 407 437 696 全の他 15 844 407 437 696 全市利益 【249億円】16 21,366 4,386 16,980 23,54 特別損益 17 116 244 △128 △206 税金等調整前四半期(当期)純利益 18 21,483 4,631 16,852 23,345 3,66 公成、住民税及び事業税 (△) 19 5,289 351 4,938 8,28	貸倒償却引当費用 (△)	6	3, 962	△1, 931	5, 893	7, 600
一般貸倒引当金繰入額 (△) 9 △198 △1,606 1,408 延滞債権等売却損 (△) 10 一 △653 653 666 666 その他 (△) 11 249 47 202 1,575 (貸倒引当金戻入益 12 一 一 一 位割債権取立益 13 447 121 326 50 株式等関係損益 14 331 △2,994 3,325 3,666 その他 15 844 407 437 696 経常利益 【249億円】16 21,366 4,386 16,980 79月損益 17 116 244 △128 △20 税金等調整前四半期(当期)純利益 18 21,483 4,631 16,852 23,346 法人税、住民税及び事業税(△) 19 5,289 351 4,938 8,28	貸出金償却 (△)	7	1, 396	△185	1, 581	1, 746
延滞債権等売却損 (△) 10 一 △653 653 666 その他 (△) 11 249 47 202 1,576 (貸倒引当金戻入益 12 一 一 一	個別貸倒引当金繰入額(△)	8	2, 515	467	2, 048	3, 311
その他 (△) 11 249 47 202 1,576 貸倒引当金戻入益 12	一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△198	△1,606	1, 408	298
貸倒引当金戻入益   12	延滞債権等売却損 (△)	10	_	△653	653	665
償却債権取立益1344712132650株式等関係損益14331△2,9943,3253,66その他1584440743769経常利益【249億円】1621,3664,38616,98023,54特別損益17116244△128△20税金等調整前四半期(当期)純利益1821,4834,63116,85223,34法人税、住民税及び事業税(△)195,2893514,9388,28	その他 (△)	11	249	47	202	1, 578
株式等関係損益       14       331       △2,994       3,325       3,66         その他       15       844       407       437       69         経常利益       【249億円】16       21,366       4,386       16,980       23,54         特別損益       17       116       244       △128       △20         税金等調整前四半期(当期)純利益       18       21,483       4,631       16,852       23,34         法人税、住民税及び事業税(△)       19       5,289       351       4,938       8,28	貸倒引当金戻入益	12	_			_
その他       15       844       407       437       698         経常利益       【249億円】16       21,366       4,386       16,980       23,54         特別損益       17       116       244       △128       △20         税金等調整前四半期(当期)純利益       18       21,483       4,631       16,852       23,34         法人税、住民税及び事業税(△)       19       5,289       351       4,938       8,28	償却債権取立益	13	447	121	326	501
経常利益 【249億円】16 21,366 4,386 16,980 23,54 特別損益 17 116 244 △128 △20 税金等調整前四半期(当期)純利益 18 21,483 4,631 16,852 23,34: 法人税、住民税及び事業税(△) 19 5,289 351 4,938 8,28	株式等関係損益	14	331	△2, 994	3, 325	3, 667
特別損益 17 116 244 △128 △20 税金等調整前四半期(当期)純利益 18 21,483 4,631 16,852 23,34 法人税、住民税及び事業税(△) 19 5,289 351 4,938 8,28	その他	15	844	407	437	698
税金等調整前四半期(当期)純利益 18 21,483 4,631 16,852 23,345 法人税、住民税及び事業税(△) 19 5,289 351 4,938 8,28	経常利益 【249億円】	16	21, 366	4, 386	16, 980	23, 545
法人税、住民税及び事業税(△) 19 5, 289 351 4, 938 8, 28	特別損益	17	116	244	△128	△203
	税金等調整前四半期(当期)純利益	18	21, 483	4, 631	16, 852	23, 342
法人税等調整額 (△) 20 896 688 208 △46	法人税、住民税及び事業税(△)	19	5, 289	351	4, 938	8, 281
	法人税等調整額 (△)	20	896	688	208	△469
四半期(当期)純利益 21 15,297 3,592 11,705 15,530	四半期(当期)純利益	21	15, 297	3, 592	11, 705	15, 530
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益(△) 22 115 △202 317 38.	非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 (△)	22	115	△202	317	385
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【165億円】 23 15,181 3,794 11,387 15,14	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【165億円】	23	15, 181	3, 794	11, 387	15, 144

(注) 1. 連結粗利益= (資金運用収益- (資金調達費用-金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益+信託報酬-役務取引等費用) + (その他業務収益-その他業務費用)

## 2. 【 】は2023年3月期予想値

(参考)(単位:百万円)連結業務純益2423,5946,45717,13725,817

(注)連結業務純益=第四北越銀行業務純益+その他の会社の業務純益+関連会社業務純益×持分-内部取引

#### (2) 第四北越銀行 単体

- ○コア業務粗利益は、前年同期比83億円増益の706億円となりました。
  - ・資金利益は、貸出金平残の増加に伴い貸出金利息が増加したほか、投資信託解約損益の増加による有価証券利息 配当金の増加及び預け金利息の増加などを主因に前年同期比56億円増益の528億円となりました。
  - ・役務取引等利益は、保険窓口販売などによる資産運用アドバイス収益の増加を主因に前年同期比8億円増益の106億円となりました。
  - ・その他業務利益(除く国債等債券損益)は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引 の増加などを主因に前年同期比19億円増益の72億円となりました。
- ○コア業務純益は、コア業務粗利益の増益に加え、人件費が8億円、物件費が預金保険料の減少等を主因に 13億円それぞれ減少したことから前年同期比106億円増益の276億円となりました。
- ○経常利益は、ネット信用コストが26億円減少した一方、国債等債券損益が63億円、株式等関係損益が22億円それぞれ減少した結果、前年同期比50億円増益の181億円となりました。
- ○四半期純利益は、特別損益が17億円減少したことなどから前年同期比24億円増益の117億円となりました。

(単位:百万円)

					(単位:白力円)
		2023年3月期		2022年3月期	(参考)
		第3四半期	前年同期比	第3四半期	2022年3月期
業務粗利益	1	61, 756	2, 041	59, 715	80, 746
(コア業務粗利益)	2	(70, 684)	(8, 388)	(62, 296)	(83, 640)
資金利益	3	52, 832	5, 632	47, 200	61, 612
うち投資信託解約損益	4	4, 821	4, 821	_	139
<b>役務取引等利益</b>	5	10, 615	827	9, 788	14, 341
その他業務利益	6	△1,691	$\triangle 4,417$	2, 726	4, 792
うち国債等債券損益	7	△8, 928	△6, 347	△2, 581	△2, 894
経費 (除く臨時処理分) (△)	8	43, 062	△2, 224	45, 286	60, 026
うち人件費(△)	9	22, 823	△872	23, 695	31, 469
うち物件費(△)	10	17, 635	△1, 390	19, 025	25, 261
実質業務純益	11	18, 694	4, 266	14, 428	20, 719
(コア業務純益) 【252億円】	12	(27, 622)	(10, 612)	(17, 010)	(23, 613)
(コア業務純益 (除く投資信託解約損益))	13	(22, 801)	(5,791)	(17, 010)	(23, 474)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	△382	△1,751	1, 369	297
業務純益	15	19, 076	6, 017	13, 059	20, 422
臨時損益	16	△924	△1,000	76	$\triangle 2, 154$
うち不良債権処理額 (△) ②	17	3, 296	△757	4, 053	7, 153
(貸倒償却引当費用①+②) (△)	18	(2, 914)	$(\triangle 2, 509)$	(5, 423)	(7, 450)
うち貸倒引当金戻入益	19		_	_	
うち偶発損失引当金戻入益	20		_	_	
うち償却債権取立益	21	441	122	319	492
うち株式等関係損益	22	950	△2, 287	3, 237	3, 758
経常利益 【192億円】	23	18, 151	5, 015	13, 136	18, 267
特別損益	24	△1,872	$\triangle 1,722$	△150	△223
うち固定資産処分損益	25	804	849	△45	△117
うち減損損失(△)	26	2, 677	2, 616	61	62
税引前四半期(当期)純利益	27	16, 278	3, 293	12, 985	18, 044
法人税、住民税及び事業税 (△)	28	4, 134	771	3, 363	6, 219
法人税等調整額 (△)	29	420	89	331	△317
四半期(当期)純利益 【120億円】	30	11, 723	2, 433	9, 290	12, 143
(参考)					
ネット信用コスト(△) 14+17-19-20-21	31	2, 473	$\triangle 2,630$	5, 103	6, 958

- (注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券損益
  - 2. 実質業務純益=業務粗利益-経費(除く臨時処理分)
  - 3. コア業務純益=コア業務粗利益-経費 (除く臨時処理分)
  - 4. 【 】は2023年3月期予想値

#### 2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

「銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令」(2020年1月24日 内閣府令第3号)が2022年3月31日から 施行されたことに伴い、銀行法の「リスク管理債権」の区分等を、金融機能の再生のための緊急措置に関 する法律に基づく開示債権の区分等に合わせて表示しております。

#### 第四北越銀行 単体

- ○不良債権額は前年同期比144億円増加し、1,262億円となり、不良債権比率も0.23%上昇の 2. 35%となりました。
- ○要管理債権が6億円減少したものの、破産更生債権及びこれらに準ずる債権は4億円、危険債権は 145億円それぞれ増加しました。

			(単位:億円)	(参考) (単位:億円)	_
	2022年12月末	2021年12月末比	2021年12月末	2022年9月末	
責権	59	4	55	54	
	1, 160	145	1, 015	1, 143	ĺ
	41	△ 6	47	31	Ì

	2022年12月末	2021年12月末比	2021年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	59	4	55
危険債権	1, 160	145	1,015
要管理債権	41	△ 6	47
三月以上延滞債権額	15	2	13
貸出条件緩和債権額	26	△ 8	34
小計 (A)	1, 262	144	1, 118
正常債権	52, 447	1, 028	51, 419
債権額合計 (B)	53, 709	1, 172	52, 537
不良債権比率 (A)÷(B)	2. 35%	0. 23%	2. 12%

2022年9月末
54
1, 143
31
10
21
1, 229
52, 334
53, 564
2. 29%

## 3. 有価証券の状況

○欧米の金融引き締め姿勢強化に伴う世界的な金利の上昇を背景に、円建債券や外貨建債券の価格が下落したこ となどから、第四北越フィナンシャルグループ連結の有価証券の評価差額は848億円の含み損、第四北越銀 行単体の有価証券の評価差額は769億円の含み損となりました。

#### (1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(畄位: 倍田)	(	(畄位: 倍田)

			2022年12月末				2021年	12月末		
			貸借対照表	評価差	<b></b>		貸借対照表	評価差	<b></b>	
			計上額		うち益	うち損	計上額		うち益	うち損
ĬÝ	茜其	開保有目的	16	$\triangle 0$		0	17	0	0	0
7	₹0.	)他有価証券	26, 105	△848	446	1, 294	25, 454	562	787	225
	柞	朱式	1, 387	367	403	35	1, 373	428	463	34
	付	責券	15, 101	$\triangle 454$	4	459	15, 495	25	78	53
	7	その他	9, 615	△761	37	799	8, 584	108	245	137
		うち外国証券	5, 416	△548	1	550	4, 101	92	122	29

(9/1/5)	(十二・						
	2022年9月末						
貸借対照表	評価差	<b></b> 差額					
計上額		うち益	うち損				
16	$\triangle 0$		0				
24, 803	△619	421	1,041				
1, 313	332	370	37				
14, 756	△228	10	239				
8, 733	△723	40	764				
4, 689	△530	1	531				

## (2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円) (単位:億円) (参考)

							(	* . NGV   1\		
				2022年12月末				2021年	12月末	
			貸借対照表	評価差	<b>差額</b>		貸借対照表	評価差	<b>差額</b>	
			計上額		うち益	うち損	計上額		うち益	うち損
Ý	茜其	開保有目的	16	$\triangle 0$		0	17	0	0	0
-	その	)他有価証券	26,000	△769	504	1, 273	25, 335	617	847	229
	柞	朱式	1, 282	430	458	27	1, 254	470	496	25
	付	責券	15, 101	△437	10	447	15, 495	45	98	53
	7	その他	9, 615	△762	36	798	8, 584	101	252	151
		うち外国証券	5, 416	△547	2	549	4, 101	94	124	29

2022年9月末						
貸借対照表	評価差	<b>差額</b>				
計上額		うち益	うち損			
16	$\triangle 0$		0			
24, 697	△550	482	1,032			
1, 206	384	414	30			
14, 756	△210	22	232			
8, 733	△724	44	769			
4, 689	△529	1	531			

※時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は次のとおりです

(畄位・倍田) (杂类)

		(十四・周1)
	2022年12月末	2021年12月末
	評価損益	評価損益
金利スワップ	259	△69

(参与)	(単位・)息门/
	2022年9月末
	評価損益
	168

## 4. 預金等、貸出金残高

第四北越銀行 単体

- ○貸出金残高は、前年同期比1,200億円増加し、5兆2,210億円となりました。
- ・県内事業性貸出がこれまでの新型コロナウイルス関連の積極的な資金繰り支援の反動や、資材価格の高騰等を受けた設備投資の先送りなどを主因に減少したものの、県外事業性貸出が大企業向けを中心に増加したほか、消費性貸出も商品・サービスの拡充や非対面チャネルの強化によるお客さまの利便性向上に積極的に取り組んだことを主因に増加しました。
- ○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比1,297億円増加し、8兆5,016億円となりました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

			(単位・)息口/
	2022年12月末	2021年12日士県	2021年12月末
		2021年12月末比	
当出金残高	52, 210	1, 200	51, 010
県内事業性貸出残高	17, 551	△ 148	17, 699
うち中小企業向け貸出残高	14, 616	△ 180	14, 796
県外事業性貸出残高	11, 806	1, 521	10, 285
うち中小企業向け貸出残高	5, 074	559	4, 515
消費性貸出残高	14, 317	535	13, 782
公金貸出残高	8, 535	△ 707	9, 242
頁金等残高	85, 016	1, 297	83, 719
うち県内預金等残高	83, 180	1, 281	81, 899
うち個人預金等残高	56, 918	1, 229	55, 689
	県内事業性貸出残高 うち中小企業向け貸出残高 県外事業性貸出残高 うち中小企業向け貸出残高 消費性貸出残高 公金貸出残高 承金貸出残高 うち県内預金等残高	貸出金残高52,210県内事業性貸出残高17,551うち中小企業向け貸出残高14,616県外事業性貸出残高11,806うち中小企業向け貸出残高5,074消費性貸出残高14,317公金貸出残高8,535預金等残高85,016うち県内預金等残高83,180	2021年12月末比    登出金残高   52,210   1,200     県内事業性貸出残高   17,551   △ 148     うち中小企業向け貸出残高   14,616   △ 180     県外事業性貸出残高   11,806   1,521     うち中小企業向け貸出残高   5,074   559     消費性貸出残高   14,317   535     公金貸出残高   8,535   △ 707     預金等残高   85,016   1,297     うち県内預金等残高   83,180   1,281

(参考)(単位·旭円)
2022年9月末
52, 037
17, 253
14, 382
11, 248
4, 916
14, 135
9, 400
84, 237
82, 376
56, 012

## 5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

○預かり資産残高は前年同期比20億円増加し、8,427億円となりました。 投資信託が179億円、公共債が82億円それぞれ減少したものの、保険が281億円増加しました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

		2022年12月末		2021年12月末
			2021年12月末比	
Ť	頁かり資産残高	8, 427	20	8, 407
	投資信託	1, 693	△ 179	1,872
	公共債	723	△ 82	805
	保険	6, 010	281	5, 729
(	参考)第四北越証券	4, 013	210	3, 803

2022年9月末		
8, 616		
1, 717		
750		
6, 148		
3, 933		

以 上

<sup>(</sup>注)預金等残高=預金+譲渡性預金